

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-52 小児医療助成事業 □支援部門										
主管課	保険年金課					関連課		こども相談課			
分野名	健康福祉										
目標 (目標値)	小児の保健の向上と福祉の増進										
人口等のデータ	データ区分	25年度			24年度			23年度			備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人口	177,895人			177,224人			177,204人			
	世帯数	80,295世帯			79,669世帯			79,217世帯			
	事業の対象者数	14497人			14018人			14459人			
運営資源状況	決算値(千円)	449,682			457,581			431,247			
	(国・県)	69,818			67,204			64,531			
	(負担金等)	17,682			15,361			8,919			
	(一般財源)	362,182			375,016			357,797			
	人員配置数	1.3人			1.3人			1.3人			
	人件費(千円)	10,167			10,649			11,572			
事務事業 運営経費	協働のパートナー	無			無			無			
	総事業費(千円)	459,849			468,230			442,819			
	市民1人当りの経費(円)	2,585			2,642			2,499			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団 体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市					
	所得制限無限界年齢	就学前	小6	3歳	就学前	0歳					
	通院対象年齢	小6	小6	小2	小6	小3					
指標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
小児医療助成事業	444,021	小児医療助成事業	482,678	今後の方向性	B	理由・手法	今年度も、小児の保健の向上と福祉の増進に努める。			
未熟児養育医療事業	5,661	未熟児養育医療事業	6,919	今後の方向性	B	理由・手法	今年度も、未熟児の保健の向上と福祉の増進に努める。			
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	神奈川県が平成20年度に一部負担金を導入した。鎌倉市は、現時点では導入の予定は無いが、県内各市の状況を把握する必要がある。											
課題解決のための取組	神奈川県医療費助成改正への対応について、県内各市の状況を確認した。								取組の結果	□解決 ■未解決		
未解決の課題	医療費の適正化に向けたレセプト(診療報酬明細書)点検業務の強化継続											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	今後とも神奈川県医療費助成改正への対応について、県内各市の状況の把握に努めるとともに、医療費の適正化に向けてレセプト(診療報酬明細書)点検業務の強化を継続する。								A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B			
※□事業完了												

評価者名

保険年金課長

持田 浩史

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
小児医療助成事業	食事療養標準負担額を除く0歳～小学校6年生の入・通院と、中学生の入院にかかる健康保険事故負担分医療費の全額を助成した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		65 785	臨時的任用職員賃金	756	703	○	○	○	○
		65 785	医療助成事務用消耗品費	145	101	○	○	○	○
		65 785	受診証印刷製本費	30	29	○	○	○	○
		65 785	診療報酬明細書印刷製本費	256	0	○	○	○	○
		65 785	審査支払等手数料	12,375	12,634	○	○	○	○
65 785	医療扶助費	466,197	430,555	○	○	○	○		
※□	事業完了								
未熟児養育医療事業	出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟なまま出生し、指定医療機関へ入院して、養育を行う必要のある乳児に対して、諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を負担した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		1478	臨時的任用職員賃金	73	58	○	○	○	○
		1478	医療助成事務用消耗品費	30	17	○	○	○	○
		1478	審査支払等手数料	110	3	○	○	○	○
		1478	医療扶助費	3,396	5,582	○	○	○	○
	※□	事業完了							
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								